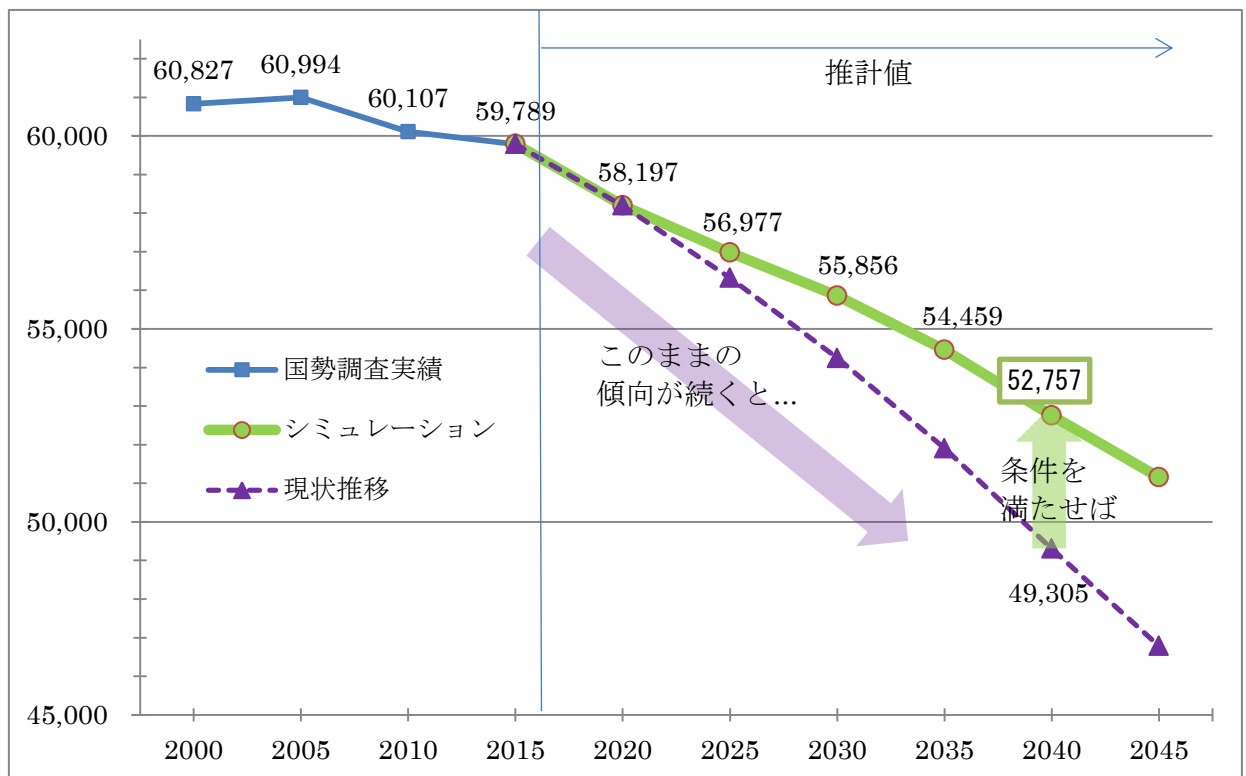


3 将来人口ビジョン

少子高齢・人口減少社会において、湖西市が将来にわたり、活力あるまちとして持続可能な発展を遂げるには、人口減少を抑制することが最も重要となります。

現状の推移から条件を変更したシミュレーションにより将来人口を展望します。

将来人口の展望(国勢調査を基準とした人口推計)



現状推移から変更した条件

- ・ 毎年の社会増減をプラスに！（ファミリー層の転入）
- ・ 希望出生率の1.8をかなえる！

希望出生率とは、既婚者の子ども予定や独身者の結婚希望や希望子ども数をかなえた場合に想定される出生率

(有配偶者割合 × 夫婦の予定子ども数 + 独身者割合 × 独身者結婚希望割合 × 独身者希望子ども数) × 離婚別効果

(32.0% × 2.01人 + 68.0% × 89.3% × 2.02人) × .0955 ≒ 1.8

国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(平成 27 年)より

現状推移

2015年以降の住民基本台帳の推移を国勢調査の人口に反映した市独自の推計です。
合計特殊出生率は1.45で推移し、社会増減は近年の減少傾向から算定しています。

	2015→2020	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減	▲502	▲432	▲413	▲371	▲278
出生数 (合計特殊出生率)	1,929 (1.45)	1,853 (1.45)	1,856 (1.45)	1,782 (1.45)	1,615 (1.45)
人口増減	▲1,592	▲1,879	▲2,077	▲2,337	▲2,599
推計人口	58,197	56,319	54,242	51,904	49,305
内、0～14歳	6,989	6,202	5,609	5,463	5,226
内、15～64歳	34,715	33,289	31,472	28,857	25,872
内、65歳以上	16,493	16,828	17,160	17,584	18,207

シミュレーション

社会増減は徐々に改善し、2030→2035年にはプラスとなります。

希望出生率をかなえ、合計特殊出生率は2030年までに1.80となります。

	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減 (市独自推計からの増加数)	▲32 (+400)	▲24 (+400)	11 (+400)	73 (+400)
出生数 (合計特殊出生率)	2,111 (1.60)	2,422 (1.80)	2,345 (1.80)	2,153 (1.80)
人口増減	▲1,220	▲1,121	▲1,397	▲1,702
推計人口	56,977	55,856	54,459	52,757
内、0～14歳	6,550	6,611	7,023	7,064
内、15～64歳	33,599	32,085	29,852	27,485
内、65歳以上	16,828	17,160	17,584	18,207

2040年は高齢人口(65歳以上の人口)の数がピークになりますが、各期間に着実に年少人口(0～14歳の人口)、生産年齢人口(15～64歳の人口)を増加させることができれば、高齢化率を改善し、将来にわたり人口減少に歯止めがかかります。



2040年の将来人口

52,757人